

## 『たそがれ大食堂』

坂井希久子著／双葉社／913.6 ㌘

マルヨシ百貨店に勤める美由起は、異動で大食堂のマネージャーに就任すること。  
しかし大食堂は存続の危機に瀕していました。  
従業員たちは古き良き大食堂の未来を守れるのでしょうか？  
美味しいごはんとともに、心温まる1冊。

## 『あったかスイーツ』

福田淳子著／主婦の友社／596.5 ㌘

北風が寒いこの季節、  
おうちであつあつスイーツを作ってみませんか？  
作っている間、家じゅうにいい香りが漂って、  
食べる前から満たされます。  
カフェ風におもてなししても喜ばれそうです♡

## 『デトロイト美術館の奇跡』

原田マハ著／新潮社／913.6 ハ㌘

綺羅星のようなコレクションを誇る美術館が、  
市の財政難から存続の危機にさらされます。  
市民の暮らしと前時代の遺物、どちらを選ぶべきか—。  
実話をもとに描かれた、アートを巡る人々の情熱に心が熱くなります。

寒い日が続いています。  
冬だし仕方ない…とはいえ、  
時々「ほっ」とあたたまりたいですね。  
今回は、そんなときにぜひ読んでほしい、  
心や体があたたかく（時には熱く！）なるような  
本たちを集めました。

# マンちゃん通信 あたたまる本

2023.1 No.20

## 『生協の白石さん』

白石昌則著／講談社／049 シ

東京農工大生協の「ひとことカード」に寄せられる  
メッセージに、誠実で機知に富んだ回答してくれる生協の白石さん。  
品物の入荷希望から、悩み相談、遊びのお誘いまで…。  
なんだか癒されるやりとり、読んでみてください。

## 『水曜日の手紙』

森沢明夫著／KADOKAWA／913.6 ㌘

「水曜日郵便局」へ手紙を送ると、  
同じように手紙を書いた見知らぬ誰かに届きます。  
誰かの手紙が誰かの背中を押してくれる、  
心があたたかくなるお話です。

## 『図書館ねこデューイ』

ヴィッキー・マイロン著／早川書房／645 マイ

ある冬の朝、アメリカの小さな町の図書館で返却箱から救出された瀕死の子猫は、  
町の人々の心を癒す存在となりました。  
一生をともに過ごした図書館長が、その様子を愛情こめて綴った物語です。

